

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
佐野和夫
印刷所
(株)東北プリント



「第76回東北鞍馬競技大会」 令和8年4月19日 (写真提供：涌谷町)

もくじ

CONTENTS

仙台牛の日消費者交流会開催報告……………	2	価格安定対策事業の発動状況について……………	7
酪農理解醸成活動実施報告……………	2	畜試便り……………	8
各種手数料の改定について……………	3	衛生便り……………	9
令和8年度全農宮城県本部畜産部の事業方針……………	4-5	農業大生校生の抱負……………	9
早めの暑熱対策を！……………	6	New face……………	10-12
高病原性鳥インフルエンザの発生状況と 発生予防について……………	7		
第61回宮城県ブラックアンドホワイトショウ 開催のお知らせ……………	7		



**みやぎの
畜産情報
発信基地**

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <https://www.miyagi-chikusan.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



仙台牛の日消費者交流会開催報告

全農宮城県本部畜産部

令和8年4月25日(土)及び26日(日)に宮城県川崎町の国営みちのく杜の湖畔公園北地区エコキャンプみちのくで開催された ARABAKI ROCK FEST 26にて仙台牛の試食会を行いました。

ARABAKI ROCK FESTは毎年春に行なわれる、新緑の中で多数のアーティストが出演し、キャンプをしながら音楽を楽しめる東北最大級の野外音楽イベントです。

イベント2日目に試食会を行い、約1,000名の方に仙台牛の試食提供を行いました。当日は仙台牛の生産者も5名参加しブースを盛り上げました。イベントの参加者からは「脂が甘くてとてもおいしかった」などのうれしい声が多く聞かれ、ブースには長蛇の列ができ大盛況に終えることができました。

今回の試食会は、多くの一般消費者に仙台牛の美味しさを楽しんでいただくことができました。

今後も仙台牛の更なる認知度向上・消費拡大につながるような取り組みに尽力してまいります。



(生産販売課 茂木 辰也)

酪農理解醸成活動実施報告

全農宮城県本部畜産部

令和8年3月6日午前9時から「ミ・ル・ク」の語呂合わせにちなみ、JR仙台駅にて、駅の利用者を対象に、酪農理解醸成活動を実施しました。

当日は、全農宮城県本部、みやぎの酪農農業協同組合様、宮城県酪農農業協同組合様の県内酪農3団体に加え、ミルクレディーにご協力をいただき、実施いたしました。

駅の利用者に対しアンケート調査および牛乳1,000本の配布・酪農理解醸成資材の配布を行い、合計2,000名分用意した配布物は瞬く間に無くなるほどの大盛況で終えることができました。

牛乳を受け取った消費者からは「牛乳を飲むことで酪農家さんの助けになれば」といった声や「牛乳をたくさん飲んで酪農家を応援したい」という声をたくさんいただきました。

また、イベントスペースにて、牛乳や脱脂粉乳の消費拡大PR動画を放映し、駅の利用者へ酪農への理解および消費拡大を呼びかけました。

今後もより多くの皆様に牛乳を飲んでいただけるよう、酪農醸成活動を実施してまいります。



(生産販売課 渥美 大峻)

各種手数料の改定について

宮城県農政部畜産課

日頃より本県の事業推進につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、令和8年4月1日より、各種手数料を改定させていただくこととなりました。

これまで手数料につきましては、可能な限り据え置きとしてまいりましたが、近年の人件費や消耗品費等の
の上昇、行政事務の適正な運営および受益者負担の公平性の確保の観点から、宮城県における手数料見直し
の方針に沿って見直しを行うものです。

皆さまにはご負担をおかけすることとなりますが、今後とも円滑な事業運営に努めてまいりますので、何
卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

家畜伝染病予防法施行条例

(法に基づく検査)

	対象となる家畜又は 監視伝染病	手数料額	
		改定前	改定後
発生予防の ための検査	牛の結核	500円	800円
	牛のヨーネ病	700円	800円
	牛のトリコモナス症	1,300円	1,400円
	馬バラチフス	1,300円	1,400円
	家きんサルモネラ症	50円	55円
	オーエスキー病	1,000円	1,200円
まん延防止の ための検査	家きんサルモネラ症	50円	55円
発生予防及び まん延防止の ための注射	鶏のニューカッスル病	60円	85円

家畜検査手数料条例

(自主検査)

	手数料額	
	改定前	改定後
牛の結核	500円	800円
牛のヨーネ病 (リアルタイムPCR法)	4,300円	5,700円
牛のヨーネ病 (リアルタイムPCR法以外)	700円	800円
牛ウイルス性下痢 (エライザ法)	1,800円	2,000円
牛伝染性リンパ種 (エライザ法)	2,000円	2,300円
馬バラチフス	1,300円	1,400円
豚オーエスキー病	1,000円	1,200円

手数料条例

	手数料額	
	改定前	改定後
家畜商免許証(従業員5人以上の 事業所向け)の交付	3,500円	4,000円
家畜商免許証(従業員1~4人の 事業所向け)の交付	2,200円	2,400円
家畜商免許証(個人向け)の交付	1,800円	2,000円
家畜商免許証の書換	1,200円	1,400円
家畜商免許証の再交付	1,200円	1,400円
家畜人工授精師免許証の交付	2,000円	2,100円
家畜人工授精師免許証の書換	1,800円	2,000円
家畜人工授精師免許証の再交付	1,800円	2,000円

手数料条例

	手数料額	
	改定前	改定後
家畜人工授精所開設許可証の 交付	6,000円	6,300円
家畜人工授精所開設許可証の 書換	1,800円	2,300円
家畜人工授精所開設許可証の 再交付	1,800円	2,300円
地域家畜市場の登録証の交付	17,800円	18,200円
地域家畜市場以外の家畜市場の 登録	44,300円	44,500円
家畜市場登録証の書換	4,000円	4,100円
家畜市場登録証の再交付	6,900円	7,000円

※その他手数料については、県ホームページをご確認ください。

(企画管理班 蝦名 由璃子)

令和8年度全農宮城県本部畜産部の事業方針

全農宮城県本部畜産部

昨年4月、新たに制定された「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」において、農業を持続可能な産業として発展させるため、畜産においても全体的な構造転換とともに、生産性や付加価値の向上により収益性を高め経営の安定を確かなものすることが重要であるとの指針が示された。

近年は配合飼料をはじめとする生産資材等の高騰や社会構造の急速な変化に伴い厳しい経営環境が続いているが、県内の畜産のなかでも、とりわけ和牛は地域経済を支える重要な産業であり、我が国の強みを活かした有望な品目として位置づけられている。畜産物の国内消費拡大や輸出促進などの需要拡大にも対応できるよう生産基盤維持拡大が求められており、生産者が再生産できる環境を構築するため、今年度はその実現に向けた重要な転換期と考える。

このような厳しい情勢の中、持続可能な畜産生産に向けた取り組みのため、JAグループとして県行政等関係機関と連携しながら、耕畜複合経営や地域内耕畜連携による水田を活用した資源循環型農業の推進などによる生産性向上対策の推進に取り組む。

また畜産経営担い手育成研修事業をはじめとした、知識・技術の習得による人材育成、担い手への活動支援に取り組むなど、地域の生産基盤の維持・強化を図る。

全国的な生産基盤減少に対応するため、特に和牛生産基盤の維持拡大に向けて、優良雌牛の保留強化・県内雌牛集団の整備を進め、発育良好で産肉能力・種牛能力に優れた子牛生産の促進に取り組むとともに、分娩間隔の短縮、適正出荷の促進、和牛繁殖農家の飼養頭数拡大、乳用牛による和牛受精卵移植の普及拡大や地域内生産など、生産性の向上とあわせた中長期的な増頭、再生産を可能とする所得向上、そして中核となる家族経営体の担い手確保など、関係機関と連携した取り組みを検討実践する。

また、子牛市場を核とした需要を踏まえた、和牛育種・改良・生産指導事業の強化、隣県家畜市場との子牛市場リレー開催の検証と改善、大規模生産者に対応した市場運営の検討、そして仙台牛のブランド力・輸出対応や消費拡大の強化など、販売戦略の再構築・実践に取り組む。

さらに、令和9年8月に開催される「第13回全共北海道大会」に向けて、「脂肪の質」等の食味性にかかわる改良や「地域の特色ある牛づくり」の充実など、更なる飛躍を目指して着実に準備を進め、本県の和牛育種・改良事業の一層の発展と畜産振興を図る。

1. 畜産生産基盤維持・拡大の取組強化

繁殖牛生産基盤の維持・拡大

- ・JA及び各地域育種・改良組合と連携した生産指導の実施
 - ・JAの子牛登記業務の内製化と生産指導体制の強化
- ・飼養管理改善による和牛生産効率の向上
 - ・肉用牛総合対策事業による分娩間隔の短縮促進（2030年目標:年1産）
- ・簡易牛舎貸付事業による維持・拡大
- ・和牛繁殖雌牛増頭対策（簡易牛舎）推進事業
- ・初妊牛生産事業による和牛繁殖牛供給・優良子牛生産
- ・優良雌牛保留対策事業による優良雌牛保留



宮城野豚銘柄推進協議会

宮城県産黒毛和種

仙台牛

仙台牛公式
Instagram

仙台牛銘柄推進協議会

6月1日は

牛乳の日

WORLD MILK DAY

宮城県牛乳普及協会

2. 家畜市場事業の取組強化

子牛市場取扱頭数の維持・拡大

- ・隣県市場とのリレー開催による購買者誘致強化
- ・肉用牛総合対策事業による子牛市場における適正出荷の促進
(2030年目標：平均出荷日令290日)

3. 肉畜販売事業の取組強化

仙台牛・仙台黒毛和牛、宮城野豚・しもふりレッド等銘柄推進と販売強化

- ・J AやJ A全農くみあい飼料(株)と連携した系統取扱頭数の維持拡大
- ・SNSやECサイト等を利用した販売促進など地産地消・消費拡大の取組強化
- ・指定店等フェアや独自企画など購買者・指定店等との連携による販売強化
- ・牛肉輸出事業の取り組み強化

4. 生乳計画生産の取組強化

酪農生産基盤の維持・拡大及び計画的な生乳生産の着実な実行
生乳流通体制合理化への取り組み強化

5. 全国和牛能力共進会対策の取組強化

出品対策事業の強化

- ・育種価推進事業
(脂肪の質等枝肉情報の収集・利用・畜産生産力・生産体制強化対策事業を活用)
- ・全共出品対策(候補牛調査・斡旋・肥育素牛引渡し)
- ・全共宮城県出品対策協議会(第13回全共計画策定実施)

6. 担い手活動取り組み強化

担い手育成・組織活動の強化

- ・J Aグループ宮城畜産担い手育成事業要領による実践

7. 生産振興事業取り組み強化

飼料用米や子実とうもろこし給与の普及推進と給与牛の販売戦略強化

(畜産部 佐藤 潤)

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>) でもご覧になれます。

(担当：審査部登録課 電話03-3583-2142)

岩手競馬(盛岡・水沢開催)6・7月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
7月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金

※開催期間中の重賞レース

- ・6/7(日) 第42回早池峰賞 ・6/14(日) 第50回ウイナーカップ ・6/21(日) 第54回一條記念みちのく大賞典 ・6/28(日) 第19回サイファイア賞
- ・6/30(火) 第14回ハヤテスプリント ・7/5(日) 第48回せきれい賞 ・7/7(火) 第58回岩鷲賞 ・7/12(日) 第39回やまびこ賞
- ・7/19(日) 第6回いしがきマイラース ・7/20(祝・月) 第30回マーキュリーカップ(メイセイオペラ記念) ・7/26(日) 第27回若鮎賞
- ・7/28(火) 第27回オパールカップ

早めの暑熱対策を！

NOSA | 宮城

今年も暑い夏がやってきます。夏を乗り切るため早めの暑熱対策を実施し、牛の消耗を減らすようにしましょう。

暑熱による牛のストレスを減らすためのポイントは主に3つあります。再確認していきましょう。

1 水

十分に水が飲めるよう、給水設備を再確認しましょう。

夏場は普段より飲水量が増加します。牛は一度に大量の水を飲みますが、餌の時間が同じため、一斉に水を飲むことから給水不足が起こります。牛は不足分を後から飲むことはしません。

一度、牛の給水量をチェックしてみましょう。

また、夏場は鉈塩の設置や水場の衛生的な環境を保つことにも注意しましょう。



2 日よけ



寒冷紗等を早めに設置し、直射日光を遮断しましょう。

直射日光を遮ることで、牛舎内の温度の上昇を抑えることができます。また、西日は横から差し込み、牛舎の奥まで届くため、注意が必要です。

また、物理的に囲いすぎると風通しが悪くなり、牛舎内の熱や湿度がこもる原因となるため、風の通り道は確保しましょう。

3 送風・換気

暑くなる前に、扇風機の準備と畜舎内の整理整頓を行い、換気（通風）を確認してください。使用前の扇風機はホコリがたまっているため、掃除をしてから使用しましょう。

不十分な換気は、温度と湿度の上昇や、結露の増加によるカビの発生など、様々な問題を引き起こします。

また、牛は風速1メートルの風が当たると体感温度が6℃、2メートルの風が当たると体感温度が8℃程度低下するといわれているため、扇風機の角度を調節し、牛体に直接扇風機の風を当てることも効果的です。

さらに、暑熱時はミストやソーカーシステムを併用するとより効果的です。



◎水、日よけ、送風・換気の3つのポイントを再確認し、牛たちが快適に夏場を過ごせるよう準備しましょう。

高病原性鳥インフルエンザの発生状況と発生予防について

宮城県農政部家畜防疫対策室

令和7年シーズンの国内における家きんでの高病原性鳥インフルエンザの発生状況は、16道府県において24事例が確認され、殺処分等の防疫措置の対象となった飼養羽数は約576万羽にのぼりました。用途別では、採卵鶏17事例、肉用鶏5事例、うずら1事例、あひる1事例となっており、10月下旬の北海道白老町での初発以降、冬季を中心に発生が相次ぎましたが、令和8年4月22日にも発生が確認されています(令和8年5月1日現在)。

本県においても、3月に角田市の農場において発生が確認され、家畜伝染病予防法に基づき、農林水産省と連携のうえ、防疫措置を実施しました。発生農場では、あひる約9,000羽が飼養されており、速やかに殺処分、埋却、農場内の清掃・消毒等の措置が行われ、3月28日に防疫措置が完了しました。その後、段階的に制限区域の解除を行いました。

今シーズンは4月の気温が上昇する時期に入ってから発生が認められたように、近年は、春先の温暖な時期にかけて発生が長期化する傾向がみられます。令和3年シーズンには5月中旬まで発生が継続しました。

過去に発生があった地域では、環境要因が重なり再発リスクが高まることが指摘されていますので、引き続き地域一体となった飼養衛生管理の強化が求められます。家きん飼養農場においては、手指消毒や専用衣服・専用靴への交換、鶏舎周辺環境の整理整頓及び修繕などの日常管理、日々の健康観察や異常時の早期通報、野鳥等の侵入防止対策など、基本的な飼養衛生管理を継続し、発生予防とまん延防止に万全を期することが重要です。

(衛生安全班 高野 泰司)

第61回宮城県ブラックアンドホワイトショー開催のお知らせ

宮城県ホルスタイン改良同志会

ホルスタイン種の改良、普及奨励並びに飼育管理・育成技術の研鑽と併せ、会員の親睦を図り本県ホルスタイン種の改良に資することを目的とした第61回宮城県ブラックアンドホワイトショーを下記のとおり開催することとなりましたので、是非ご来場ください。

例年暑さが予想されます。ご来場の際は、帽子や日傘等の利用、こまめな水分補給をお願いいたします。

- 1 開催日 令和8年6月20日(土)午前9時50分開会
- 2 場所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
- 3 審査員 株式会社野澤組 衆 咲良 氏
- 4 出品予定頭数 50頭
- 5 出品区分

未經産		経産	
第1部	生後12ヶ月未満	第5部	生後36ヶ月未満
第2部	生後12ヶ月以上16ヶ月未満	第6部	生後36ヶ月以上48ヶ月未満
第3部	生後16ヶ月以上20ヶ月未満	第7部	生後48ヶ月以上60ヶ月未満
第4部	生後20ヶ月以上	第8部	生後60ヶ月以上

(事務局：一般社団法人宮城県畜産協会 家畜改良課)

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

販売月	肉専用種(宮城県)	交雑種(全国)	乳用種(全国)
令和8年1月 (概算払) 精算払	(—) —	(—) —	(30,364.4円) 37,195.2円
2月 (概算払) 精算払	(—) —	(—) —	(23,975.3円) 30,357.9円
3月 精算払	—	—	28,743.3円

- ◎肉用子牛生産者補給金(子牛補給金) 令和7年度第4四半期(1月~3月) 交付なし
- ◎優良和子牛生産推進緊急支援事業 令和7年度第4四半期(1月~3月) 交付なし
- ◎和子牛産地基礎強化緊急特別対策事業 令和7年度第4四半期(1月~3月) 交付なし
- ◎肉豚経営安定交付金(豚マルキン) 令和7年度第4四半期(1月~3月) 交付なし

〈畜試便り〉

新しい飼料作物奨励品種の紹介

宮城県畜産試験場

畜産試験場では、県内における栽培に適した飼料作物の選定を行うため、栽培試験を実施し品種の生産性・生育特性を調査しています。今回は、新しく宮城県の飼料作物奨励品種に指定された飼料用トウモロコシ(子実利用型)3品種について紹介します。

[飼料用トウモロコシ(子実利用型)]

飼料用トウモロコシの極早生品種「パイオニア93日(系統名P9027)」、「ネオデントエスパス95」、早生品種「パイオニア108日(系統名34N84)」が3年間(令和5年~令和7年)の品種比較栽培試験の結果、安定した成績を示し奨励品種に指定されました。

表1 主要な品種特性

Table with 7 columns: 商品名, 早晩性, メーカーRM, 乾物収量, 耐倒伏性, 耐病性, 赤カビ耐性. Rows include 3 corn varieties.

凡例 ◎:優れる、○:並

※畜産試験場において5月上旬に播種し、発芽から収穫期までの調査結果(R5~R7)による。

表2 初期成育および熟期(畜産試験場3か年平均)

Table with 7 columns: 商品名, 播種日, 発芽日, 雄穂抽出期, 雄穂開花期, 絹糸抽出期, 黄熟期. Rows include 3 corn varieties.

表3 収量性(畜産試験場3か年平均)

Table with 7 columns: 商品名, 収穫日, 茎葉乾物重(kg/10a), 雌穂乾物重(kg/10a), 総体乾物重(kg/10a), 子実乾物重(kg/10a), 子実含水率(%). Rows include 3 corn varieties.

(草地飼料部 天野 祐敏)

Advertisement for 'がんばる!畜産!9' featuring QR codes, contact info for 中央畜産会, and a video thumbnail.

〈衛生便り〉

豚流行性下痢 (PED) について

宮城県東部地方振興事務所畜産振興部

豚流行性下痢 (PED) は、下痢と食欲不振を主徴とするウイルス性の豚の疾病で、特に哺乳豚で重篤化しやすく、10日齢以下の豚の死亡率は100%に達する場合があります。平成25~26年にかけての国内での大流行では、1年間で38道県817農場において約125万頭が発症し、うち39万頭が死亡する事態となりました。

令和8年3月に、宮城県では11年ぶりとなるPEDの発生がありましたので、あらためて本病の対策についてお伝えします。

対策①：妊娠豚へのワクチン接種

PEDのワクチンを接種した妊娠豚の乳汁を飲むと、子豚の発症を防いだり、症状を軽くすることができます。平時から用法・用量を守って妊娠豚へのワクチン接種を行うことで、子豚の被害軽減を図りましょう。

対策②：農場・豚舎内へのウイルスの侵入防止

豚舎内外の定期的な清掃・消毒、農場に出入りする車両の消毒、専用作業服や長靴の使用など、基本的な衛生管理を徹底しましょう。特に分娩舎は被害が大きいので、より一層の注意が必要です。常に清潔で良好な畜舎環境を整えることは、母豚の良好な免疫状態の維持や子豚の十分な初乳・乳汁の摂取につながるほか、万が一ウイルスが侵入した際に、環境中のウイルス量を低減させることにもつながるため、ワクチンの効果を引き出すポイントとしても重要です。

3月の発生後、県内での続発は認められておりませんが、いつまた過去の流行に匹敵するような事態が起こらないとも限りません。日頃からの衛生管理はもちろんのこと、異状を見つけたときは、速やかに管理獣医師またはお近くの家保へご連絡いただくようお願いします。

(大河原家畜保健衛生所 板橋 知子)

〈農業大学校生の抱負〉

将来への抱負

宮城県農業大学校 畜産学部 泉 海偉



私は農業大学校畜産学部に入學し、将来、家業である畜産経営を担うために専門的な知識と技術を身につけたいと考えています。私の家では黒毛和牛を約200頭飼養する一貫経営を行っており、幼い頃から牛の世話や作業を身近に見て育ちました。家族が日々牛と向き合い、命を育てながら経営を続けている姿を見て、私も地域の畜産を支える存在になりたいという思いを強く持つようになりました。

私が農業大学校へ進学した大きな理由は、家畜人工授精師の資格を取得するためです。現在、父が人工授精師の資格を持っており、繁殖管理を行っていますが、将来は私自身がその技術を習得し、繁殖から肥育までを自ら担う経営体制を築きたいと考えています。人工授精技術を身につけることで繁殖成績の向上を図り、外部委託を減らすことでコスト削減にもつなげたいと考えています。

また、安定した畜産経営には飼料費の管理が重要であると感じており、家畜の飼料生産についても積極的に学びたいと考えています。自給飼料の栽培管理技術を習得することで、経営の安定化と持続可能な畜産経営の実現を目指したいです。

農業大学校では飼養管理、繁殖技術、衛生管理、飼料管理などを実習と講義の両面から学び、主体的に行動できる畜産の経営者へ成長することを目標としています。将来は学んだ知識と資格を活かし、家業の畜産業を発展させ、地域に貢献できる畜産農家になることが私の抱負です。

NAR

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公営社団法人 中央畜産会 × 一般社団法人 宮城県畜産協会

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

〈New face〉

NOSA I 宮城 県南家畜診療センター
鈴木 史花

はじめまして、この春から宮城県農業共済組合 県南家畜診療センターに配属となりました、鈴木史花（すずき ふみか）と申します。宮城県加美町出身で、出身大学は日本獣医生命科学大学です。大学では、産業動物臨床学研究室に所属し、富士山のふもとにある大学付属牧場にて周産期の乳牛の採血や身体検査、繁殖検診などに取り組んでまいりました。

幼い頃から近所に牛がいて、農家さんに支えられて成長してきたため、地元宮城の農家の皆様のお役に立ちたいという思いで戻ってまいりました。また、産業動物臨床獣医師は、動物の治療だけではなく、その先の食品にも関わるやりがいのある仕事と知り、より志す気持ちが強くなりました。さらに、当組合には研究活動に熱心に取り組まれている先生方がおり、その中で高度な知識を学べる環境に魅力を感じ入組いたしました。

4月に入組して以降、同期とともに研修に励み、知識と技術の習得に努めております。まだまだ未熟ではございますが、日々の業務を通して知識と技術を着実に身に付け、一日でも早く皆様のお役に立てるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

NOSA I 宮城 県北家畜診療センター
小川 花奈

初めまして。今年度から宮城県農業共済組合 県北家畜診療センターに配属となりました小川花奈と申します。出身地は群馬県で、出身大学は酪農学園大学です。食料を生産する農業という分野に興味があり獣医師を目指しました。大学では病理学研究室に入り、主に馬や牛の解剖や病理検査を行っていました。昨年度まで群馬県職員として働いていましたが結婚を機に宮城県に引っ越し、農家の皆様のお役に立てる仕事をしたいと考え当組合に入組いたしました。前職の勤務先は家畜保健衛生所と県営の乳牛預託育成牧場でした。家畜保健衛生所では鳥インフルエンザや豚熱の発生対応や

家畜衛生指導等、預託牧場では育成牛のお世話や繁殖業務等を行っていました。

農業に関わるようになり、飼料高騰や感染症など厳しい現状の中、農家の皆様がいかに大変な思いをして農業を続けているのか痛感しました。今後は損害防止や生産性向上を意識し皆様の一助となるように尽力してまいります。

まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、皆様のお力をお借りしつつ精進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

NOSA I 宮城 中央家畜診療センター兼家畜診療研修所
鳥越 歩

初めまして、4月から宮城県農業共済組合 中央家畜診療センター兼家畜診療研修所に配属になりました、鳥越歩と申します。出身地は神奈川県で、出身大学は麻布大学です。宮城県は初めての土地ではございますが、祖母がかつて岩出山に疎開していた縁もあり、よく当時の話を聞いておりました。そのため、不思議と親しみを感じていたこの土地に赴任できたことを大変嬉しく思っております。

在学中、NOSAIの実習へ参加し、動物の命を預かり経営を行う覚悟の大きさを肌で実感いたしました。そのように大切に育てている動物を学生の私にも快く触れさせてくださり、多くの学びを与えてくださった農家のみなさまに少しでも貢献したいという思いから、宮城県での入職を決意いたしました。

現在は往診随行など研修の毎日で、診療技術はもちろん、地域に根ざした循環農業の営みや飼養管理の工夫など、現場の生きた知恵にたくさん触れさせていただき、日々新たな発見と刺激を受けております。まずは地域のことを深く知り、大学で学んだ知識の形を柔軟に変えながら、一日も早く農家のみなさまに還元できるよう努めてまいります。

まだまだ未熟で至らぬ点もあるかと存じますが、安心して何でも相談していただけるような獣医師を目指し精一杯頑張ります。厳しくも温かいご指導を、どうぞよろしくお願申し上げます。

<New face>

NOSA | 宮城 中央家畜診療センター古川支所
保坂 采耶



初めまして。今年度より宮城県農業共済組合 中央家畜診療センター古川支所に配属になりました、保坂采耶と申します。出身は神奈川県で、出身大学は日本獣医生命科学大学です。大学5年生の時に大動物獣医師の実習に参加し、これまで食べていたお肉に多くの人が携わっていることを実感しました。また、私もその一員として食に貢献したいと思い、大動物獣医師を志すようになりました。NOSAI宮城へ実習に来た際、農家の方々の温かさに触れ、多くの獣医の先生方から様々なアドバイスをいただける環境に魅力を感じ、当組合を志望いたしました。

現在は、牛について学びながら、先生方からご指導をいただき、新たな知識を吸収する日々を送っております。積極的に学び、少しでも畜産業に貢献できるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

宮城県農政部畜産課生産振興班

櫻庭 大騎



はじめまして。令和8年4月より宮城県農政部畜産課生産振興班に配属となりました、櫻庭大騎と申します。東北大学農学部動物微生物学研究室に所属し、牛乳房炎防除に関する抗菌タンパク質の研究を行っていました。出身は秋田県で、秋田県の家畜保健衛生所で2年間、畜産試験場で1年間勤務し、家畜改良増殖法に関する管理・指導業務や飼料に関する試験研究に携わってまいりました。宮城県では、秋田県で培った経験を活かしながら、農家さんの収益向上に繋がることを念頭に置き、日々の業務を遂行していきたいと考えております。

入庁して1カ月ほど経ちますが、行政職の情報量とスピード感到に圧倒されている日々で自身の知識不足、経験不足を痛感しております。まだまだ未熟な面が多いですが、これから宮城県の畜産振興に貢献できるよう尽力いたしますので、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

宮城県北部家畜保健衛生所

松村 春輝



はじめまして。令和8年4月より北部家畜保健衛生所に配属となりました、松村春輝と申します。出身は宮城県仙台市で、今年3月に北里大学を卒業しました。人獣共通感染症学研究室に所属し、黄色ブドウ球菌の産生するエンテロトキシンの生物活性について、コモンマーマセットを用いて研究していました。大学での研究内容としては、保健所等の方が近いとは思いますが、インターンシップでの経験を通して家畜保健衛生所の仕事により魅力を感じたため、農政部を志望しました。

今までは、授業以外で大動物と関わる機会がほとんどなかったので、入庁してからの短い期間で様々な農家や家畜と接する貴重な経験が得られ、本当に楽しく毎日がとても充実しています。これから先様々な経験をすることになるとは思いますが、初心を忘れず、宮城県に貢献できるよう日々の業務に努めていこうと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

感動を呼ぶ製品をめざして

ORION

ハードシステムとソフトシステム
(ビフォー&アフターサービス)で
あなたの経営を応援。
これがオリオンの思想です。

中央オリオン株式会社

宮城営業所 〒989-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号
TEL : 0229-26-4330 FAX : 0229-26-4338

農業共済新聞

畜産みやぎ

畜産みやぎ
NOSA
宮城県農業共済組合
TEL 0229-87-8281

次の一手を未来につなげたい

総合印刷企業

株式会社 東北プリント

〒980-0822 仙台市青葉区立町24番24号
TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986
E-mail mail@tohokuprint.co.jp

<New face>

宮城県東部家畜保健衛生所
矢守 凜



はじめまして。令和8年4月より宮城県東部家畜保健衛生所の防疫班に配属となりました、矢守凜と申します。出身は東京都で、東京農工大学の共同獣医学科を卒業いたしました。卒業後は国家公務員として働き、約2年間仙台空港で勤務しておりました。

家畜保健衛生所に配属となってから約1か月が経過し、牛・豚・鶏などの様々な種類の家畜に関わる機会があり、新たな発見の多い毎日を過ごしています。現在は、現場での採材や検査業務について、先輩方のご指導のもと、日々技術の習得に励んでいます。また、業務を通じて、家畜衛生が畜産を支える重要な役割を担っていること

を改めて実感しております。まだまだ知識・経験ともに不足しておりますが、一つ一つの業務に真摯に向き合いながら、宮城県の畜産振興に貢献できるよう努めてまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

宮城県畜産試験場
井盛 貴博



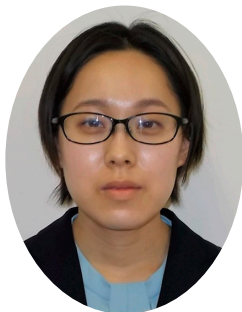
令和8年4月より宮城県畜産試験場酪農肉牛部に配属となりました、井盛貴博と申します。広島県出身で、令和2年3月に岩手大学農学部を卒業しました。大学では動物行動学研究室に所属し、動物園動物の吸血昆虫防除についての研究を行っていました。大学卒業後、宮城県内の和牛繁殖牧場にて家畜人工授精師として勤務した後、宮城県庁に再就職させていただくこととなりました。

現在は畜産試験場で繋養する種雄牛の管理と凍結精液の生産、和牛の集団育種事業に関する業務などに携わっています。また、令和9年度に北海道で開催される全国和牛能力共進会（全共）に向けた取組も進められており、5年に1度の大会に宮

城県職員として関わられることを大変嬉しく思っています。

これからは先輩職員から真摯に学びつつ、民間での経験も生かしながらいち早く業務を習得し、宮城県の畜産に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

宮城県畜産試験場
中田 凪音



令和8年度より宮城県畜産試験場草地飼料部に配属されました、中田凪音と申します。出身は宮城県名取市で、令和8年3月に岩手大学農学部を卒業いたしました。大学では動物遺伝子機能学研究室に所属し、透明帯の除去が牛の初期胚に与える影響についての研究を行いました。また、学生団体の活動として岩手県の酒蔵と共同で日本酒を製造・販売し、その中でも特に酒米栽培の担当として活動に取り組みました。

現在は牧草・飼料作物の品種比較を行い、高能力品種を選定するために複数品種の栽培を行っています。また、それと並行して寒地型牧草の夏枯れリスクを軽減するための技術実証も行う予定です。

家畜動物の繁殖を専攻していたため、草地についての知識が浅く、現在は日々勉強に励んでおります。業務を行う中で知識と技術の両面において一日でも早く成長できるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ東北オフィス
仙台市泉区泉中央4丁目19-1 TEL022-347-4138

小田島商事(株)
大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

M P ア グ ロ (株)
仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム
仙台市泉区八乙女3-3-1 TEL022-343-5301